

# 令和6年度 総合型選抜 課題探究型 総合考査【スポーツ国際学科】

試験時間：60分

.....

ドーピングは、世界アンチ・ドーピング規程に定める規則違反の定義に違反することを指し、スポーツの価値をおとしめるとされています。そのため、国際競技会では1966年以来、ドーピングコントロールが導入されました。

しかし、現在でも依然としてドーピングを行う選手が存在しています。そのため、スポーツ界からドーピングをなくすための論議が継続されています。この効果的なドーピングの防止策について論議している会議で、次の二つの意見が出され、意見が分かれた場面を想定してください。

- 1) ドーピング防止は、各国が個別に取り組むべき課題であり、ドーピング防止に向けた国際的な協力をしていても防止できないため、各国での取組を重視すべきである。
- 2) ドーピングは、多様な国で起こっている。そのため、各国が個別に対応していたのではドーピングを防止することはできない。実行可能な対応策に関する国際的な合意をまずは取り付けるべきである。

この会議で提示されたデータ<図>は、2020年のドーピング違反を犯した選手の上位10の国の選手の国籍を示しています。

問. あなたが、この会議に参加しているとすれば、1)と2)のどちらの意見を支持しますか。どちらを指示するのかを明記した上で、<図>から読み取れる内容を踏まえてその意見を支持する理由を説明しなさい。(600字以上800字以内。横書き)

本部分については著作権法上の問題から掲載  
することができませんので、ご了承願います。

<図>2020年におけるドーピング違反のあった上位10カ国の選手数